

2020.12.1信濃毎日新聞

集団免疫獲得で 新型コロナ収束

上田で長崎大教授講演

長崎大熱帯医学研究所の山本太郎教授(56)が30日、上田市内で開かれた内外情勢調査会上田支部懇談会で「Wit
hコロナ 新たな社会の見取

り図」と題し、講演した。写真。これまでに人類を襲った感染症も踏まえ、新型コロナウィルスの日本での収束は「緩やかな流行の中で人口の一定割合が集団免疫を獲得することで達成される」と述べ



電話相談 多言語化

厚生労働省は30日、新型コロナウイルスに関する電話相談窓口を多言語化し、従来の日本語に加え、英語や中国語など7言語でも対応すると発表した。開始は12月1日からで、365日受け付ける。

「していない」とした。「ウィルスを倒すことを目的にするのではなく、新型コロナ禍で困窮している人を守る事が大切ではないか」と述べた。近代の細菌学は病原体を発見し、なくすことを前提としているとし、「共生という概念を中心にした感染症対策が重要。人間が自然の一部である限り感染症はなくならない」と指摘。その上で「感染症によつて人類は多くの困難を抱えたが、免疫を有することで社会は強くなるという側面もある」とした。

新たに加わる7言語は英語、中国語